

# わが

## 人口増加が続く湘南の元気都市藤沢 〜郷土愛あふれる藤沢の実現を目指して〜

湘南エリア最大の  
人口43万人都市

藤沢市は、東京から50km圏内、  
神奈川県南部中央に位置し、江  
の島や湘南海岸など観光資源にも



オリンピックのセーリング競技会場となる江の島

恵まれ、年間1600万人以上の

観光客が訪れる気候温暖なまちで  
す。江戸時代には、東海道五十三  
次の6番目の宿場町としてにぎわ  
い、江の島は多くの浮世絵にも描  
かれ、歴史と文化の薫るまちでも  
あります。市内には、慶應義塾大

学湘南藤沢キャンパスをはじめ、  
4つの大学キャンパスがあり、近  
年は、暮らしやすいまちとしても  
人気が高く、2018年4月には、  
人口43万人を突破し、湘南の元気  
都市として発展を続けています。

### 「シビックプライド

### ランキング2018」

### 愛着ランキング第1位

本市では、総合計画を廃止し、  
長期的な展望を持ちつつ、市長任  
期に合わせて4年を計画期間とす  
る重点化プログラムとして「市政

運営の総合指針」を定め、目指す

都市像を「郷土愛あふれる藤沢  
（松風に人の和うるわし湘南の元  
気都市）」とし、期間内に重点的  
かつ確実に実施していく施策を位  
置付けています。

2018年7月に読売広告社が  
発表した「シビックプライドラン  
キング2018」において、本市は、  
愛着ランキングと継続居住意向ラ  
ンキングで第1位、総合ランキン  
グで第4位という高い評価をいた  
だきました。市民の郷土への愛着  
と誇りを高めることを基本に市政  
を進めてきた本市にとって、大変  
ありがたいことと思っています。

### 子育て世代に人気のまち

近年は子育て世代を中心に転入  
者が多い状況が続いています。本  
市は、湘南の海と緑豊かな自然に



「キュンとするまち。藤沢」  
公式マスコットキャラクターふじキュン♡

恵まれており、電車・バスの交通  
網の発達など、交通アクセスの良  
さも魅力の一つです。市内には鉄  
道6路線21駅があり、都心まで約  
50分、横浜へも約20分で出られま  
す。また、買い物環境も充実して  
おり、JR東海道線辻堂駅直結の  
大型ショッピングモール「テラス  
モール湘南」や、「Fujisawaサス  
ティナブル・スマートタウン」内  
にある、個性豊かな専門店が集ま  
る「湘南T・SITE」などが注目  
されています。市内にはほかにも  
子どもたちにも人気の「新江ノ島  
水族館」や、一日中遊べる大きな  
公園などが多数あり、市の北部で  
は果物狩りも楽しめます。

## 将来を担う子どもたちのために

保育需要の高まりに対応するため、認可保育園や小規模保育事業の新設、藤沢型認定保育施設の活用など保育環境の整備を進めています。また、子育てに役立つ情報の提供をはじめ、不安や悩みを相談できる子育て支援センターなどが充実しており、地域団体による子育て支援も活発に行われています。こうした地域ぐるみの支援活動が盛んなところは、市の大きな強みです。さらに、子育て家庭の



湘南の宝石（関東三大イルミネーション）

経済的負担を軽減するため、本年4月からは、「入院」に加え、「通院」に掛かる小児医療費助成制度の対象年齢も中学3年生までに拡大する予定です。

子どもの貧困対策として、大学等進学者に対する返済の必要がない給付型奨学金制度や、民間団体との連携により、ひとり親家庭に対して中学校入学時や中学校卒業時に支援金を支給する制度も実施しています。これからすべての子どもたちが夢と希望を持って成長していくことができるまちを目指してサポートしていきます。

## 東京2020オリンピック・パラリンピックから未来に向けた元氣なまちづくりへ

東京2020オリンピックのセーリング競技が江の島で開催されます。本市は、ボランティアなどを通した「市民参加型」の大会を目指しています。多くの市民が大会にかかわることで、郷土への愛着と誇りがはぐくまれ、「郷土愛あふれる藤沢」の実現につながるものと考えています。

そのほか、健康寿命日本一を目指す取り組みを推進するとともに、

に、独自に「地域の縁側」という地域住民が気軽に立ち寄れる居場所を市内35カ所に設置し、住民同士の交流や健康相談など、支え合いの地域づくりに向けたさまざまな取り組みを行っています。また、人口構造の変化も見据えて、人とロボットが共生する未来社会の推進に取り組む「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」を展開しており、生活支援ロボットや自動運転など、最先端技術の実

## プロフィール

- ◆ 面積 69・57km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 43万2991人
- ◆ 世帯数 19万7353世帯

〔将来都市像〕郷土愛あふれる藤沢  
 松風に人の和うるわし湘南の元氣都市  
 〔まちの特徴〕相模湾に面し、気候温暖、風光明媚な自然環境に恵まれ、交通の利便性にも富んだまち

〔特産品〕湘南しらす、藤稔（ブドウ）、



藤沢市長  
鈴木恒夫



湘南野菜（トマト、キャベツなど）、湘南ポーク、パンジー、シクラメン  
 〔観光〕江の島、湘南海岸、新江ノ島水族館、遊行寺、藤澤浮世絵館  
 〔イベント〕ふじさわ産業フェスタ、藤沢宿・遊行の盆、ふじさわ江の島花火大会、湘南の宝石（イルミネーション）

証フィールドとしても注目されています。今後も、湘南の元氣都市として発展を続けられるよう、市民、地域団体、大学、民間企業など、多様な主体とのマルチパートナーシップにより、人と人との「和」を大切に、子ども、高齢者、障がいのある人など、誰もが住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるまちづくりを推進していきたいと思っています。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



# わが

## 歴史と自然に抱かれた 豊かで恵み多き島「えたじま」

「じまん」がたくさんある島

江田島市は、広島県の南西部、広島湾に浮かぶ島の小さな自治体です。

江田島、能美島を中心に、大小



明治期の残り香が漂う「旧海軍兵学校(海上自衛隊第1術科学校・幹部候補生学校)」

9つの島で構成されており、面積は約100km<sup>2</sup>、約2万4千人が暮らしています。気候は、温暖で瀬戸内の島らしく、アクティビティに適しており、カヌーやSUPなどの海遊び、ハイキングなどの山遊び、海岸線のサイクリングなどを、市内の方が楽しんでおられます。特産品は、全国

トップクラスの生産量を誇るカキをはじめとした海産物、暖かな気候で育ったかんきつや花卉<sup>かき</sup>。最近では、新たにオリーブの栽培も手掛けています。

そして、現在は海上自衛隊の教育施設となっている、旧海軍兵学校(海上自衛隊第1術科学校・幹部候補生学校)。1888年(明治21年)に東京から移設された同施設は、当時の歴史的建造物を現在も活用しています。構内には貴重な資料が多数収蔵されており、これらを無料で見学することができます。訪れた方は、きっと、近くて遠い時代の残り香を感じるとともに、平和への誓いを新たにすることと思います。そのほかにも、浜辺での生き物観察、世界遺産・厳島に沈む夕日、夜の星空と波の音。

自慢したいことがたくさんある、私の大好きな島です。

### 最大の課題である人口減少

しかしながら、全国の多くの自治体と同様に、本市も深刻な人口減少に悩んでいます。1947年(昭和22年)の約6万4千人をピークに、一貫して人口は減り続け、近年は年間約500人の減少傾向。この原稿を書いている2018年11月には、約2万4千人になりました。

われわれの大好きな江田島市を次世代に引き継いでいくために、何とかすべき最大の課題です。

弱みとなっているのは、やはり、仕事づくりと若年層の確保。平地部が少なく、鉄道や高速道路などが無い島の地勢において、工場誘致による雇用創出で活路を見

いだすのは困難です。

このため、市の総合計画では、「市民満足度の高いまちづくり」を掲げ、居住地として選択していただける生活環境の整備を進めるとともに、「未来を切り開くまちづくり」として、交流人口の増加を掲げ、観光消費額の増加や経済活動の拡大を図っていくこととしています。

具体的な施策としては、認定子ども園など子育て施設の充実、起業・創業への支援、シェアオフィスの誘致、新たな特産品づくり、地域包括ケアシステムの推進など。一つ一つの取り組みを、着実に積み重ねていくところです。

### 「縁」をキーワードとしたまちづくり

人の人生において、居住地を選択するのは、とても大きな決断です。わが国全体が人口減少傾向に転じる中で、利便性に劣る地域で社会増などの結果を出すのは、並大抵のことではありません。



海遊びデビューに最適な、波が穏やかな本市の海

もちろん、そのための努力は最大限行っています。本市は、市の総合戦略で「縁」をキーワードとして掲げ、市内に住んではないものの、本市のことが好きな人、気になる人、応援する人などの「関係人口」づくりにも取り組んでいます。

具体的な取り組みとして、体験型修学旅行の受け入れがあります。これは、主に都市圏の中学、高校の修学旅行生が、市内の一般家庭に宿泊し、一緒に料理をしたり、島の体験をしたり交流を深めるといった事業です。おかげさ

で、受け入れ規模は拡大傾向にあり、2012年度には2校、175名であったものが、2017年度には32校、4118名の方にお越しいただきました。きつと生徒は、ずっと本市のことを覚えていてくれるでしょうし、受け入れ家庭との間で、手紙のやり取りやプライベートでの再訪などの交流が続いている例も見られます。

また、首都圏近郊にお住まいの方を対象としたファンクラブ組織を立ち上げ、毎年、会報発行や情報交換会を開催しております。本市を離れて長い方も、皆さん故郷のことを常々気に掛けてくださっており、近況などをご説明すると、とても関心を持って聞いていただけます。

そのほかにも、都市圏の個人や企業を対象とした受け入れツアーや、市内のイベントへの招待事業なども実施しております。これに参加した方が、地域でイベントを企画したり、市内のサークルに加入したりといった嬉しい事例も出てきております。

「平成30年7月豪雨」では、本市は、家屋損壊や断水、道路崩壊などの被害が発生しました。しかし

ながら、こうした「縁」ある方々から、本当にたくさんの方の心温まるご支援や励ましのお言葉をいただきました。心から感謝するとともに、約2万4千人の江田島市民には、たくさんの方の応援して下さる方がいることを実感させていただきました。

施策の効果としてはとても表現しにくいものになりますが、本市

## プロフィール

- ◆ 面積 100・70km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 2万3568人
- ◆ 世帯数 1万2573世帯

〔将来都市像〕 協働と交流で創りだす「恵み多き島」えたじま

〔まちの特徴〕 旧海軍兵学校などに代表される歴史、そして温暖で穏やかな瀬戸内の自然と恵み豊かな島しょ部のまち

〔市町村合併〕 2004年11月1日、江田島町、能美町、沖美町、大柿町が合併して市制移行



江田島市長  
明岳周作



〔特産品〕 カキ、ちりめん・いりこ、きゅうり、かんきつ、花卉、オリーブ

〔観光〕 海上自衛隊第1術科学校、砲台山、陀峯山、真道山森林公園・キャンプ場、長瀬海岸、シーサイド温泉のうみ

〔イベント〕 江田島 SEA TO SUMMIT、江田島湾海上花火大会、ヒロシマMIKANマラソン、江田島市カキ祭り、江田島市かきカキマラソン



多くの交流を生み出す体験型修学旅行の受け入れ

は、こうした人と人との心の交流を大切に、まちづくりを進めていきたいと考えています。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。